科目	コミュニケーション英語 II	学年	第3学年	開講	通年	必修	4単位
----	----------------	----	------	----	----	----	-----

学習目標 読む、書く、聞く、話すの4技能を総合的に伸ばし、英語でのコミュニケーションスキルの土台を作る。また、世界の共通語としての英語という言葉を通じて、真の国際理解の基礎を養う。

MY WAY English Communication II New Edition
ワークブック(スタンダード版)

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
前期	Lesson 8	仮定法過去	・小笠原諸島の「小笠原言語」を例に、複数の言語が会うとき、互いに及ぼす影響について考える。	4	中間	○	○	○
		仮定法過去完了				○	○	○
		ifを使わない仮定法		5		○	○	○
		no matter＋疑問詞		6		○	○	○
	Lesson 9	分詞構文(現在分詞、過去分詞)	・20世紀の喜劇王と呼ばれたチャップリンの半生を学び、喜劇王になるまでの葛藤について学ぶ。	6		○	○	○
		完了形の分詞構文				○	○	○
		付帯状況のwith		7		○	○	○
前期 授業評価						○	○	○
後期	Lesson 10	同格のthat	・1300年もの間倒れずにその姿を保っている法隆寺の五重塔の秘密を学ぶ。	9	期末	○		○
		倒置				○	○	○
		省略		10		○		○
		強調構文		11		○	○	○
	Reading	物語の展開を考えながら読む。	・花嫁探しの手紙にハンサムな弟の写真を同封してしまったその結果は。物語を鑑賞する。	12			○	○
		スキミング					○	○
	後期 授業評価						○	○

評価の観点 「コミュニケーション英語 I」で学んだ学習内容を踏まえ、ことばの学習を通じて、思考力、表現力の育成を促し、豊かな言語観を育成する。世界の中の日本、世界の中の自分を知ること、異なる文化を尊重する心を育むとともに、英語の学習を通じて、自らの力で考え、判断し、表現する力が身についているか。

評価方法 定期考查:90% 課題・宿題提出:10%